



1. 人形を操る場、上段（本手）、下段（二の手）を設けるため平面の床板をとりはずす



2. 本手、二の手となる部分の土間が現れたところ



3. 本手となる部分は土間から1尺の所に床板を敷き直す



4. 本手の背後に絵襦を取り付けるための鳴居を入れる。



5. 絵襦。小襦、幕、暖簾をつけ人形芝居用の舞台に完成



6. 完成後、「傾城阿波の鳴門」お鶴とお弓の人形を操る。